

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 127 事業名 資源ごみリサイクル事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		清掃費
	目		塵芥処理事業費
	大事業		塵芥処理事業
事項		資源ごみリサイクル事業	

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
取組	1	3Rの推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H9 ~		
関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	和田 年晃 (435-1352)	
関連課	南事務所、北事務所、西事務所		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民が、廃棄物から再資源化できる物を分別し、ごみの減量化を進め、循環型社会の形成を目指すとともに、環境に配慮した市民生活の定着を目的とする。	市民が自らに再生可能な資源物として、かん、びん、ペットボトル、紙・布及びプラスチック製容器包装を分別していただき、市が収集する。限りある資源物の再生利用を行い製品化することで、循環型社会の形成を目指し、環境負荷が軽減し、3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進等、廃棄物行政全体でごみ減量化の推進を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		一般家庭及び事業所から収集された下記量の資源ごみを再資源化した。 かん 1,153.96トン びん 3,411.51トン ペットボトル 1,246.78トン 紙・布 3,788.56トン プラスチック製容器包装 2,799.21トン	一般家庭及び事業所から収集された下記量の資源ごみを再資源化した。 かん 1,179.29トン びん 3,201.06トン ペットボトル 1,257.04トン 紙・布 4,153.98トン プラスチック製容器包装 2,766.76トン	一般家庭及び事業所から収集された下記量の資源ごみを再資源化した。 かん 1,231.44トン びん 3,186.46トン ペットボトル 1,160.96トン 紙・布 3,988.13トン プラスチック製容器包装 2,699.16トン		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	147,148	128,335	137,689	122,123	132,904	122,722	139,023			
	伸び率 (%)	-	-	-6.4%		-3.5%		4.6%			-100.0%
	人件費	常勤職員	6,129	18,725	6,129	6,779	6,779	6,378	6,378		
		非常勤職員		389							
	小計	6,129	19,114	6,129	6,779	6,779	6,378	6,378			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他	1,000	1,153	1,200	12,138	1,200	40,326	4,500				
一般財源(税等)	146,148	127,182	136,489	109,985	131,704	82,396	134,523				
所要人数	常勤職員	0.8	2.44	2.44	0.9	0.9	0.84	0.84			
	非常勤職員		0.86								

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	ごみ減量化等啓発（リリクル通信発行）					年度目標値		3	3	3	
						実績値		3			
	単位	回	全体目標値	年3回の発行	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%			
	ごみ減量化等啓発（出前講座開催）					年度目標値	50	50	100	100	
						実績値	76	86	113		
成果指標	一般廃棄物のリサイクル率					年度目標値	12.37	15.54	15.97	11.3	12.2
						実績値	9.58	9.7	9.19		
	単位	%	全体目標値	20	全体目標達成度	65.8%	年度別達成度	77.4%	62.4%	57.6%	
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>B 1</b>
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	平成23年度7月から雑がみを紙・布として分別収集を開始するなど、収集資源を再生利用する取組が進んでいるため。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	平成23年度に「和歌山市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、平成23年度目標として対22年度比ごみ量の約30%の減量を目指すこととし、これを基に、様々な施策に取り組みを行うこととしている。 資源物のリサイクルを含め、ごみの減量化は、市民一人ひとりの意識が大切であり、地道に開発活動を行い、ごみ減量に繋げることが必要である。 ごみ減量化へ向けた事業の一環として、資源物収集を市民団体で取り組んでいただく資源集団回収の推進等やキャラクター「リクル」を用いた幼稚園、保育所、小学校等を対象とした出前講座を行い、小さいときからリサイクルを理解していただく活動の強化を行う。 リサイクル率は伸び悩んでいるが、啓発を進め分別の推進を行い、ごみ量の減量化とともにリサイクル率の向上を目指す。